

新刊

魚人





見なぬものもかたりて眼を物とすりるもあつぬへいゝ言
 ありつりそかけふえきまふあつるなる母の人なるに
 をさうと画とてえとの如くは追儼小玉や物さうの
 物さうの意と時りつけるる事の新のり也業事し
 あつれ海河舟すお魚の 勢ひ新に生ある種との由地
 ありき一をのあまは哉を文何れもこれ
 は道みたり入るに跡をりたり以て四時の例も
 つきまふとれたるなり人の月まゝをまはさふと
 入るにあはけしめまふとより物せしれ
 空若おもしろをむつむ道の雪域をまきんれに
 をさうの けいさのまのすうりな
 しまの承貞

柳

川

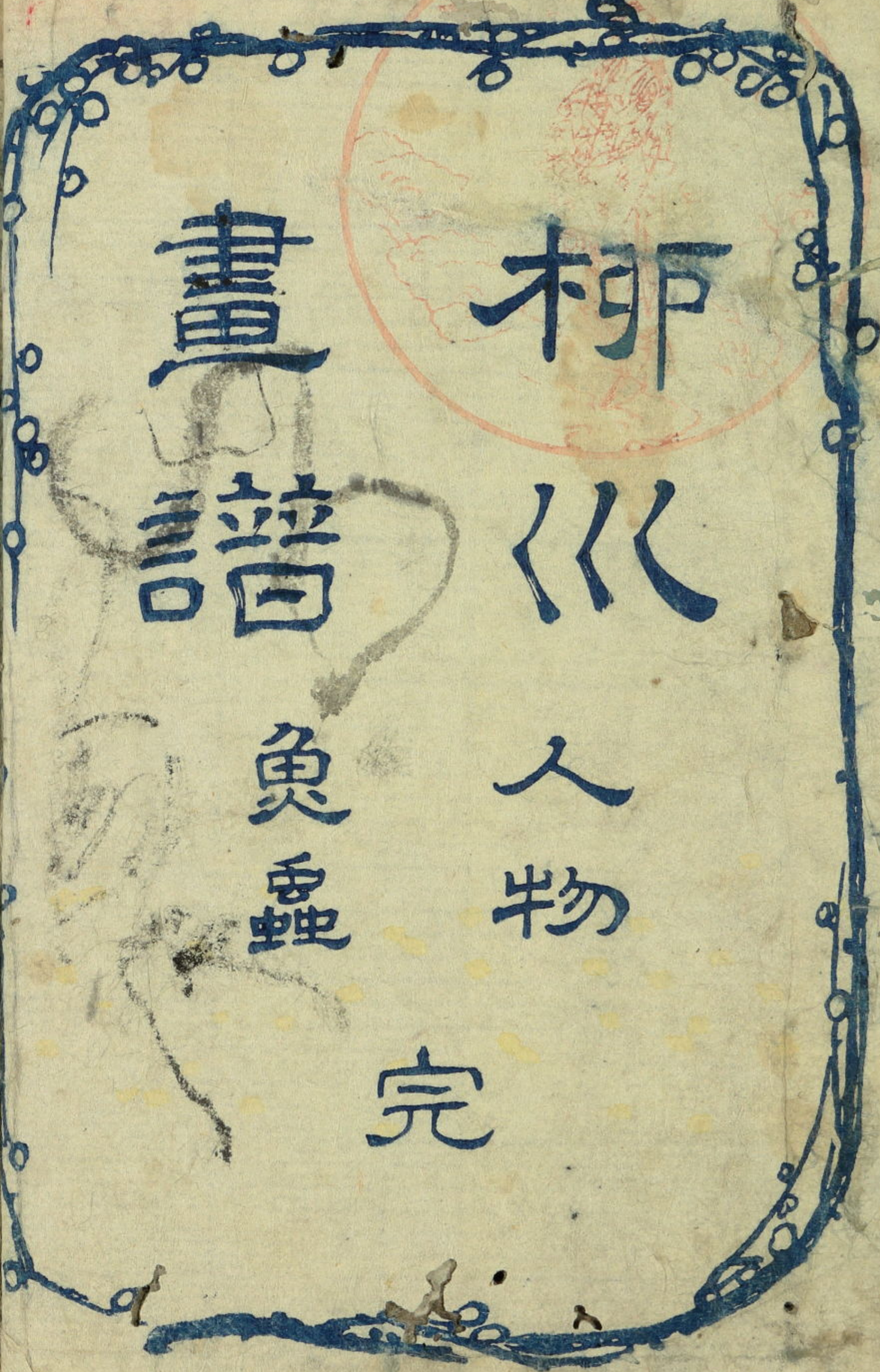
人物

畫

譜

魚 虫

完





万々
歳々





合台賣

六之部

金物屋

車力

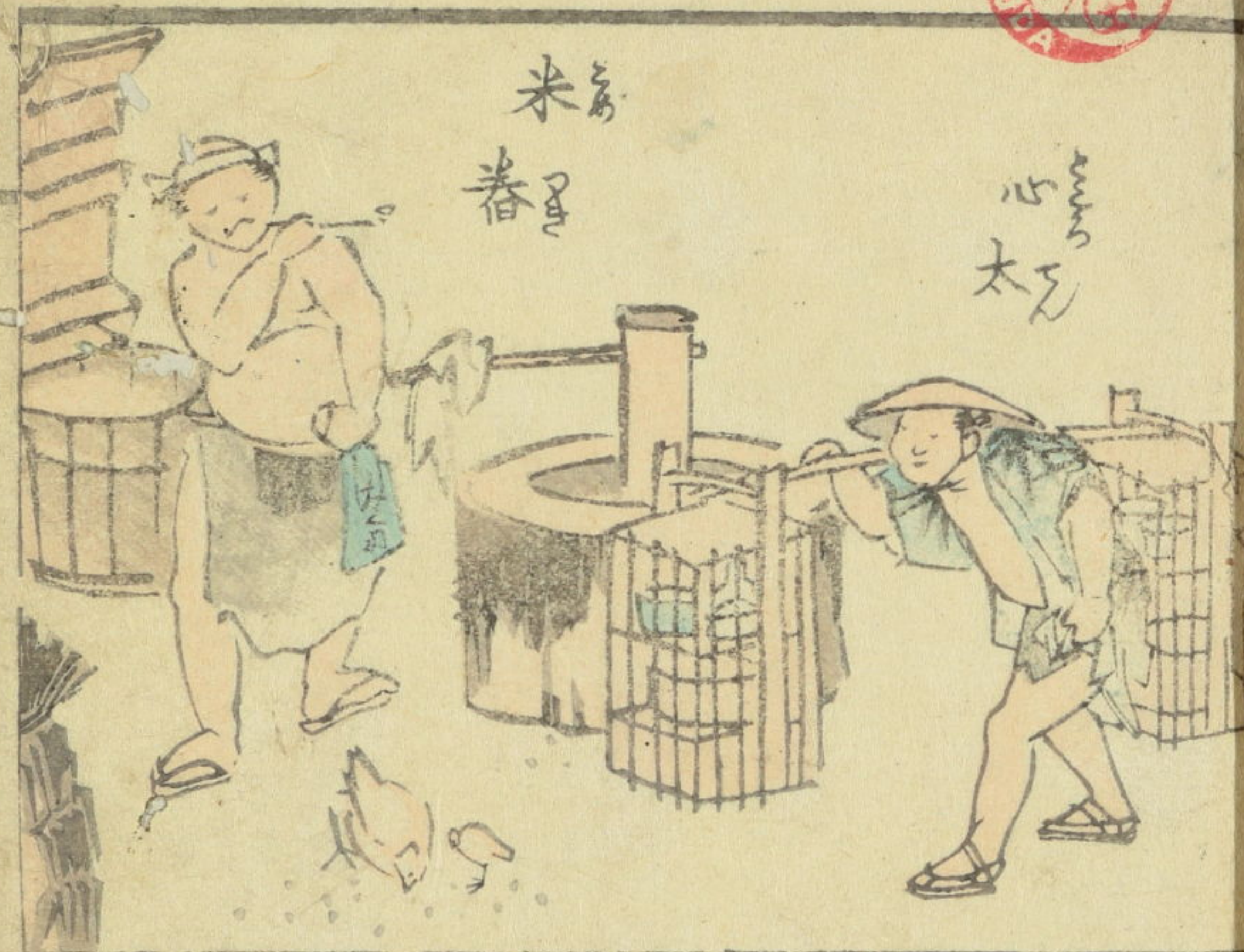
托鉢

初午

王屋

新入





米
舂

心
太



初
松
魚

錦
魚



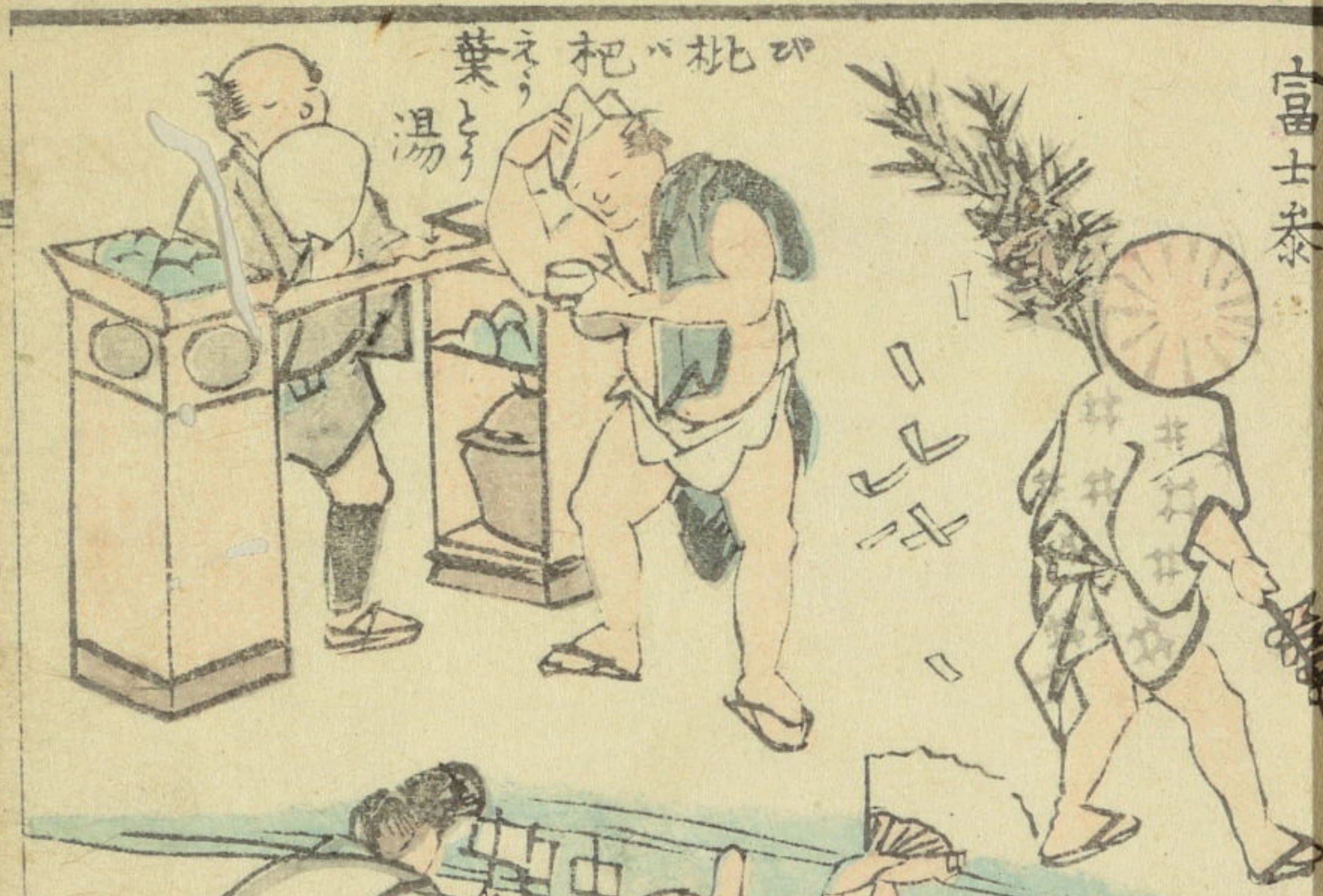
蟬

蜻
蛉
釣



筑
摩
祭





葉杷枇
湯

富士

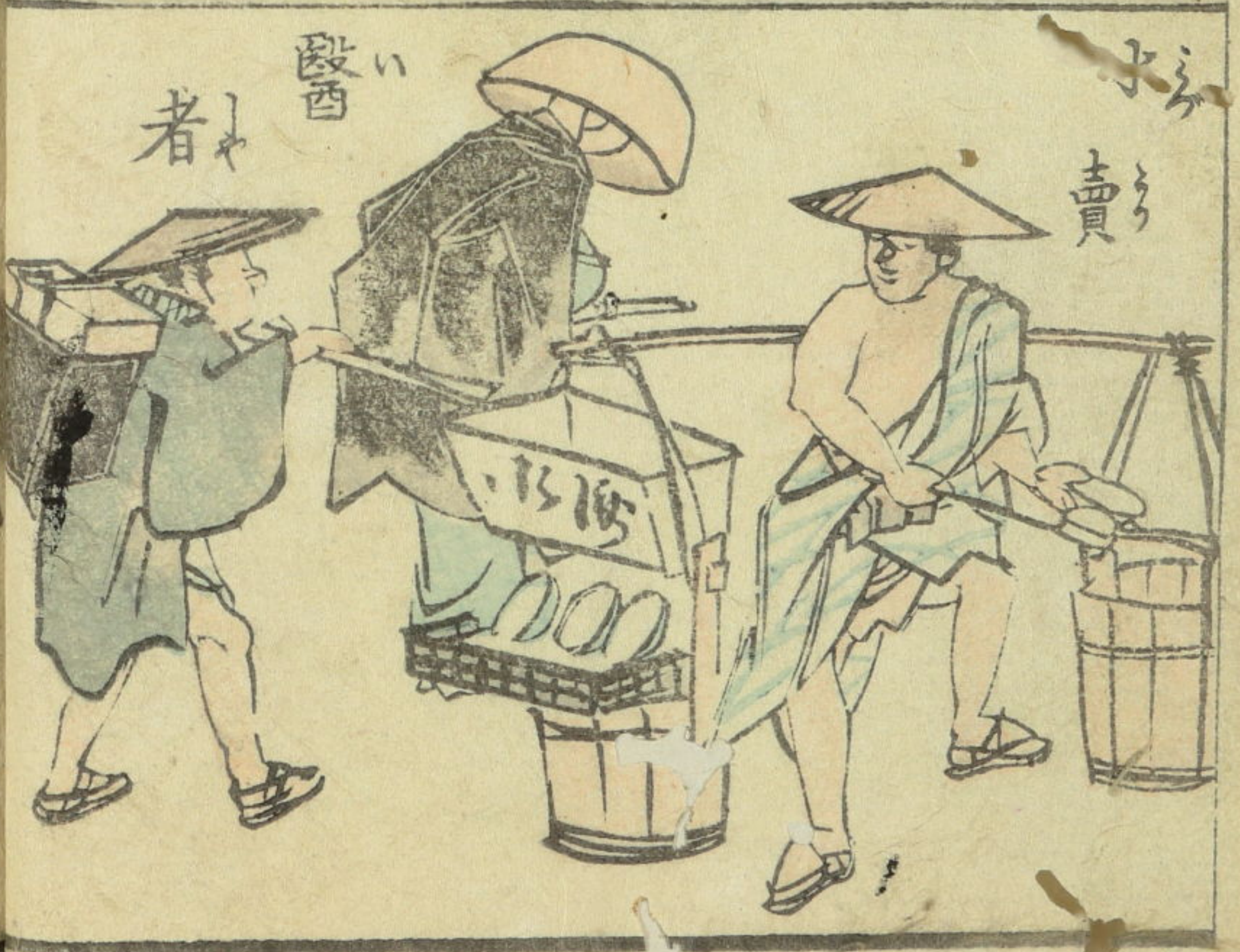


住
踊



天
王
様

御
後



醫
者

子
賣

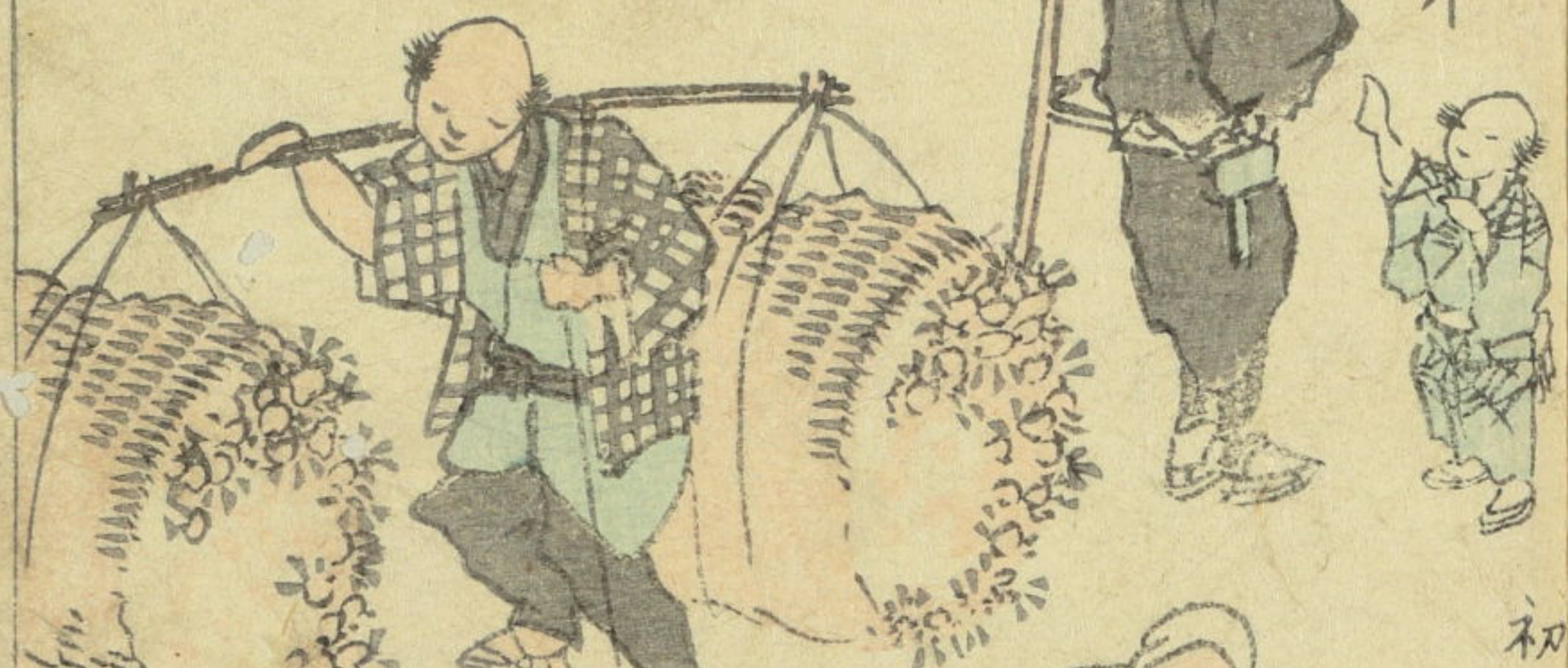






釣師

取替



花屋

初葺賣



熊の膏薬



竹輪屋

占者



神明



太夫



物

燒芋

顔見番附

徳平

紙屑拾

馬士

小間物屋



惠比壽講

作花

爐開

納豆賣

紅葉狩





新
年の
市の

松
の
賣

御
神
酒
の
口
賣

歳
暮

門
飾

掛
取

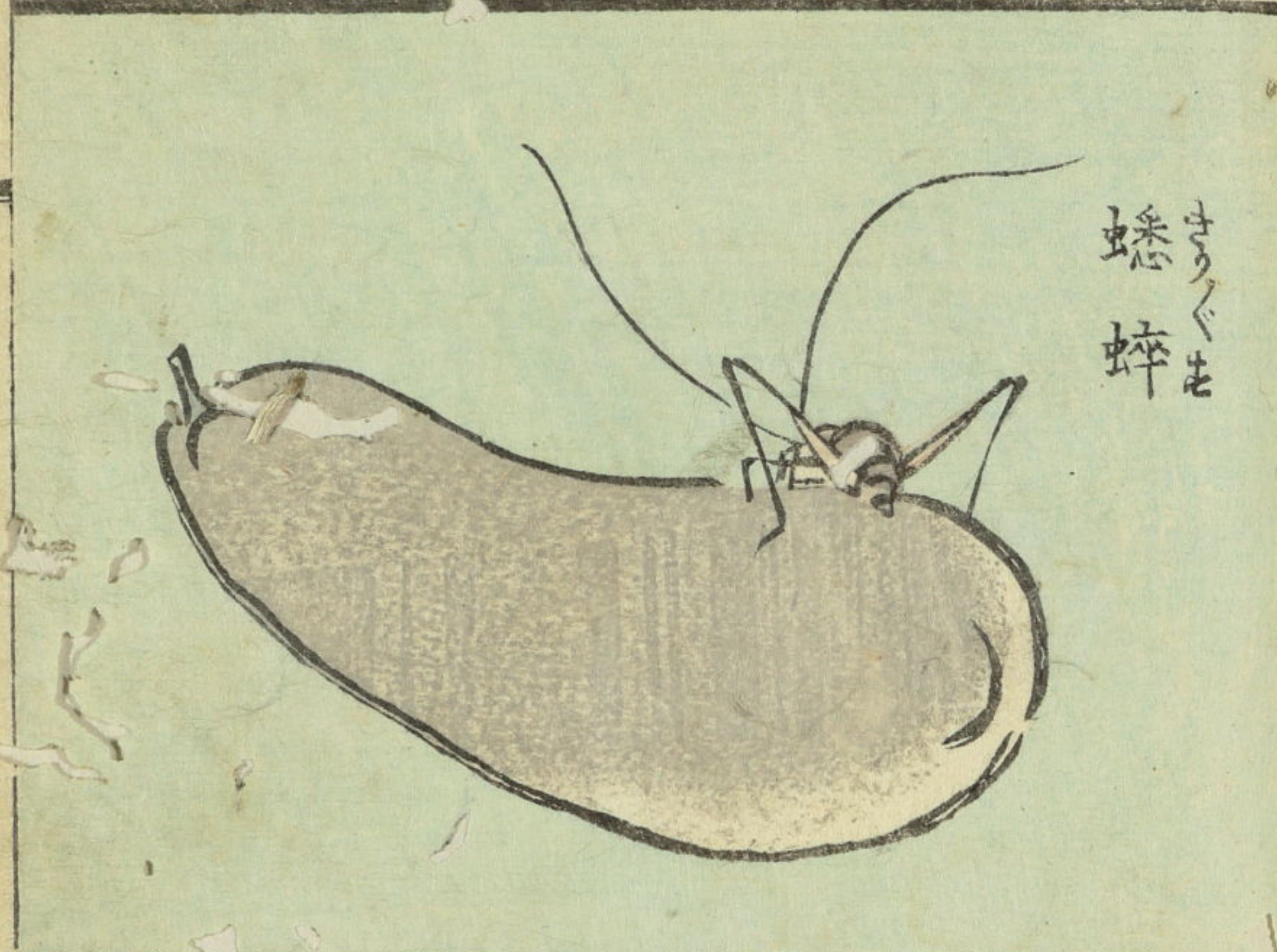


師
御
伊
勢
の
勤
カ

餅
の
賣

世
き
節
季
候

寒
念
佛



蟋蟀 せむしぐし



蟬 せみ

晚蟬 ばんせみ



海蟹 うみかに

蟹 かに



蟻あ
蝸か



蝸か
牛う



蟾か
蜥か



水みづ
馬うま

蛙か



蜻蛉
虫



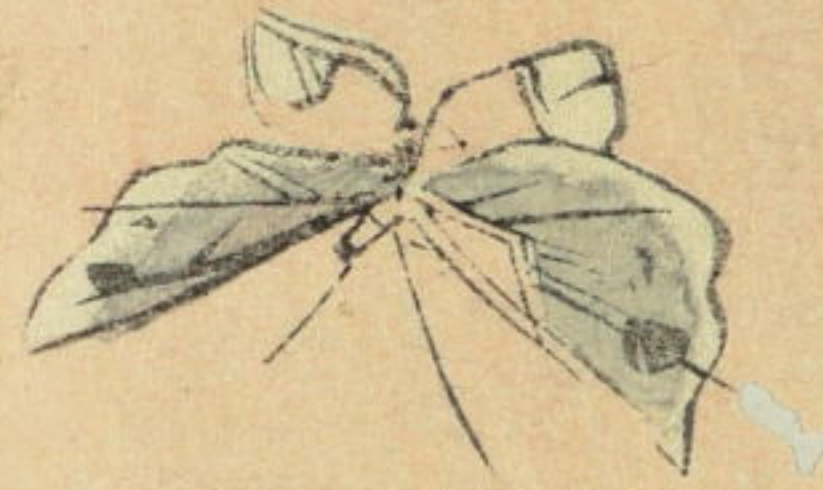
緋屋
蜻蛉
虫

芒
草



金鐘
虫

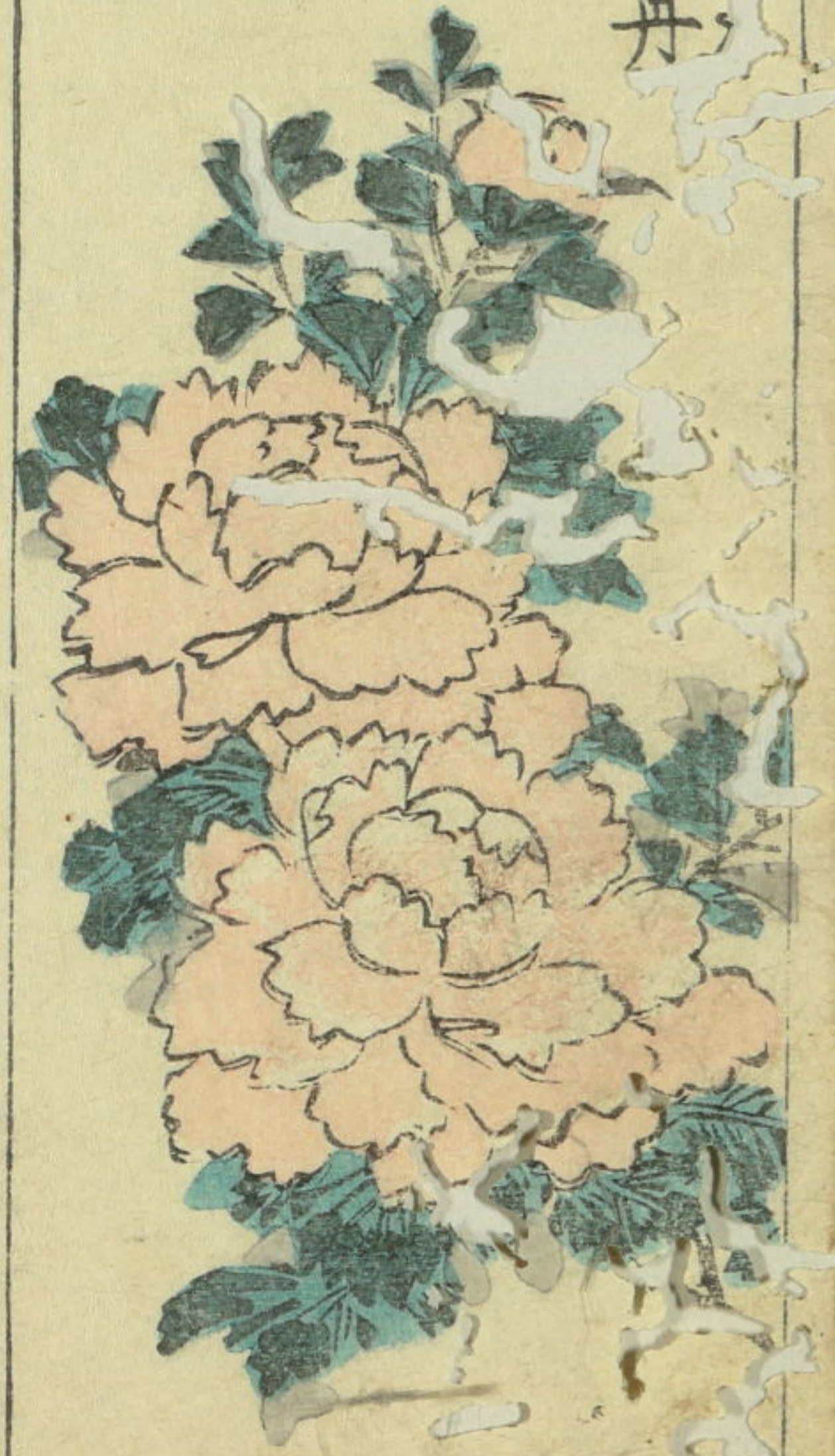
胡蝶
虫



蝶
虫



牡丹
花





鯨

海生魚

鯛

烏賊

鯛

魚

魚



鱸

魚

鯛

鮑

泥鰌

大魚

赤鯮

海鱸



金魚 きぎよ

目 め

草 くさ



沙魚 さぎよ

沙魚 さぎよ

小魚 こぎよ

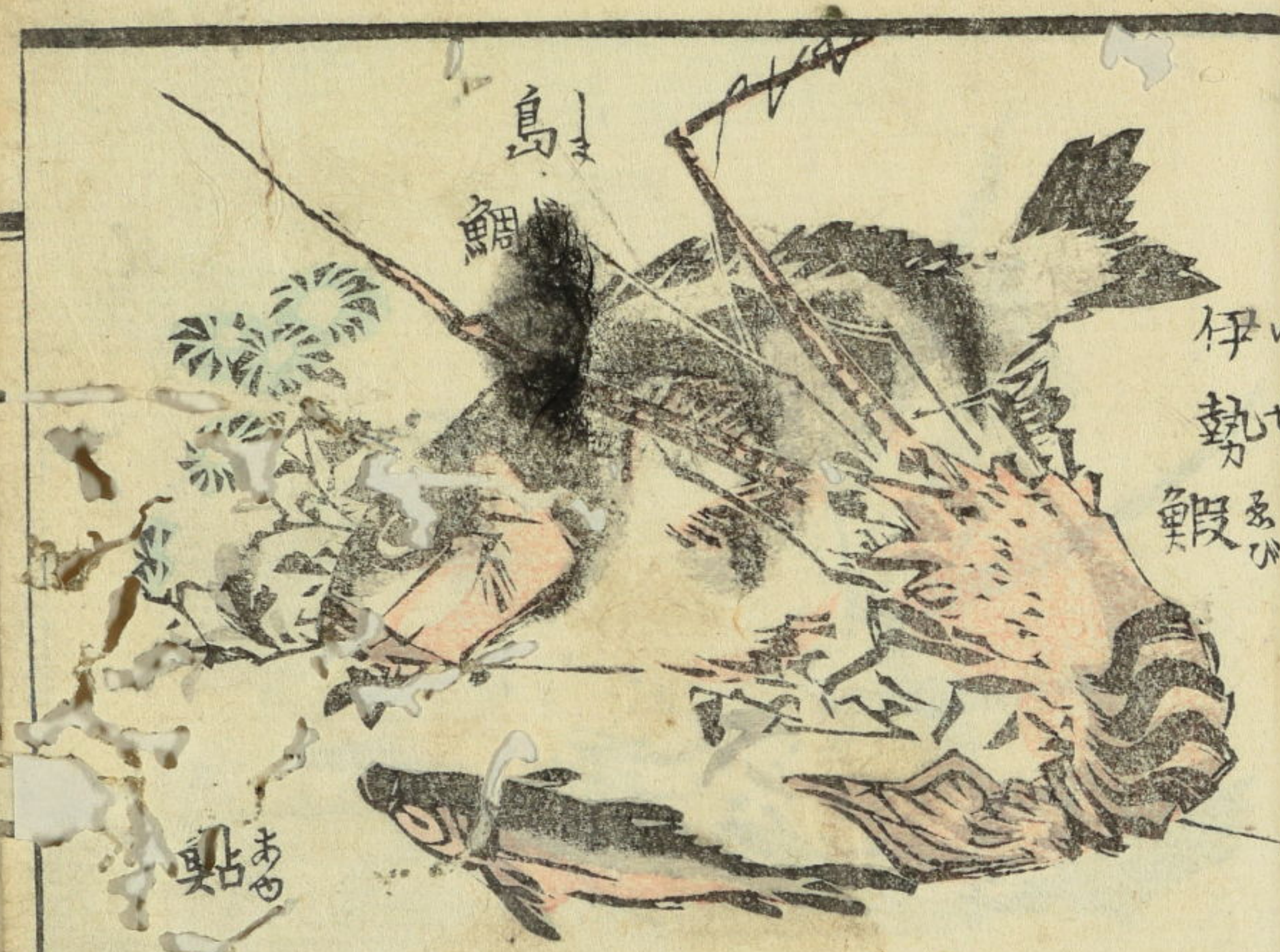


鯉魚 こいぎよ

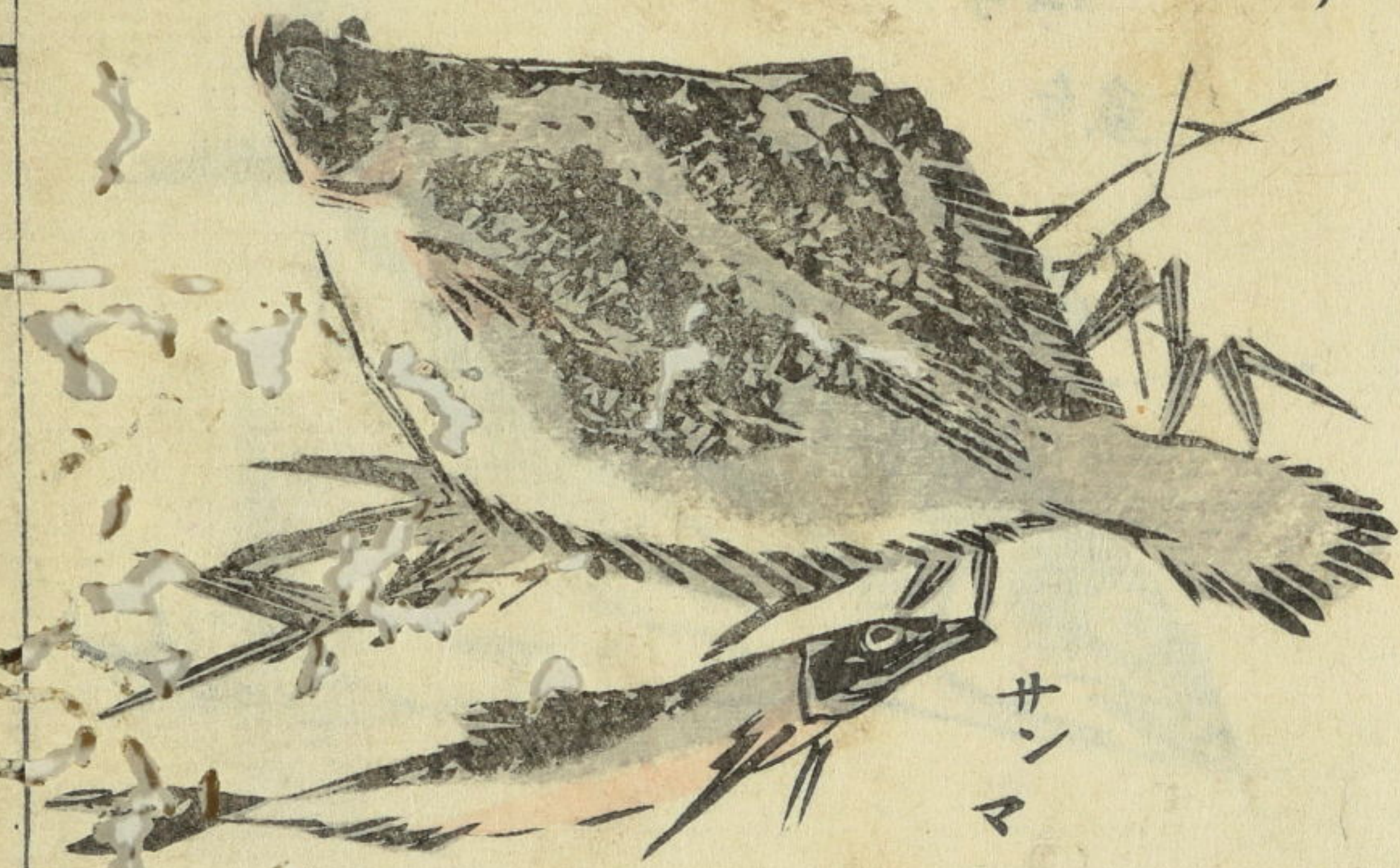
鮒魚 ふぎよ



乃羽 のう



鯢ニギハヤヒ



サシマ

鯉ニギハヤヒ
鯉ニギハヤヒ



鱈ニギハヤヒ
魚ニギハヤヒ

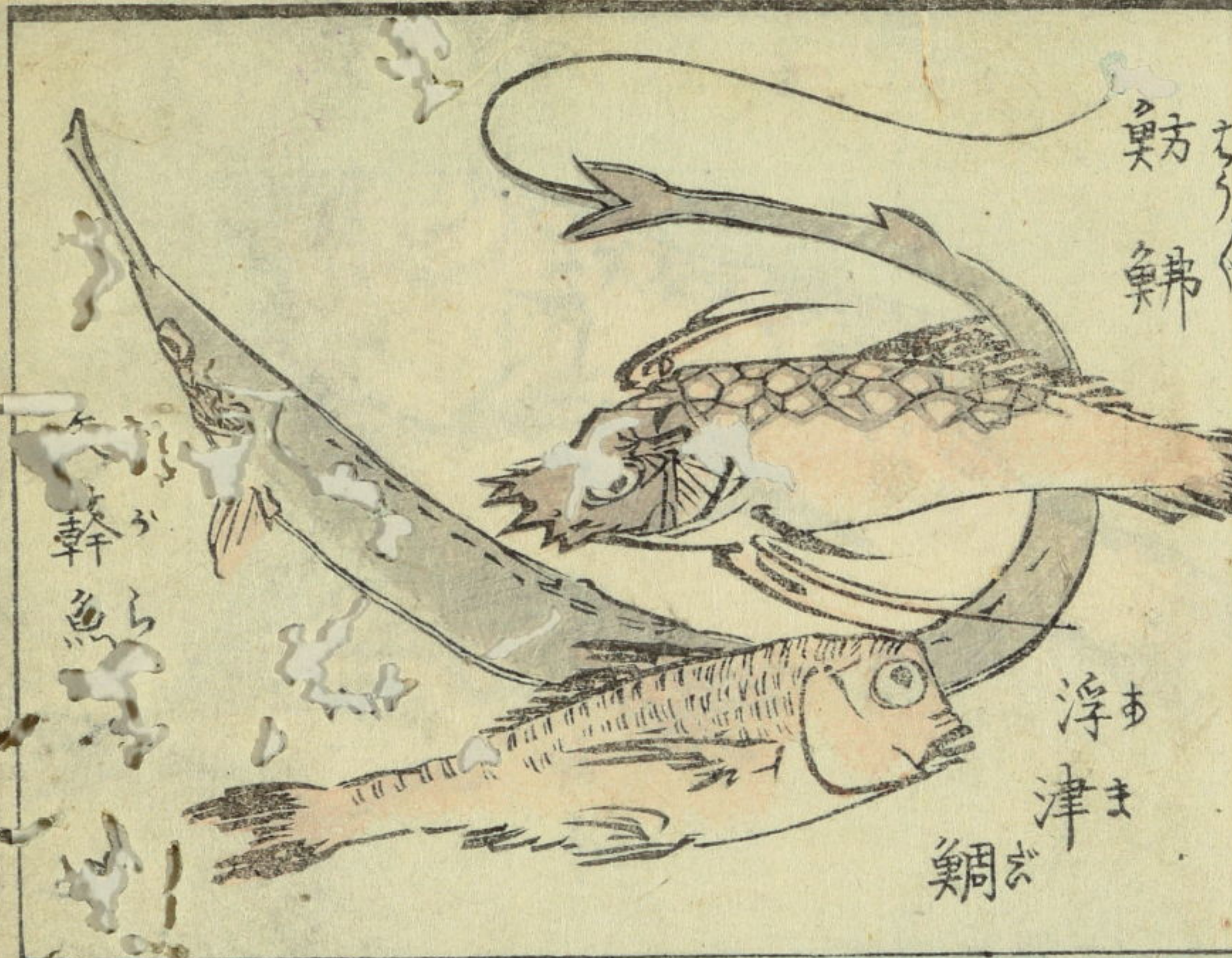


鱈

鱈ニギハヤヒ
鯛ニギハヤヒ



鯛



鯛
鱈

浮
津
鯛

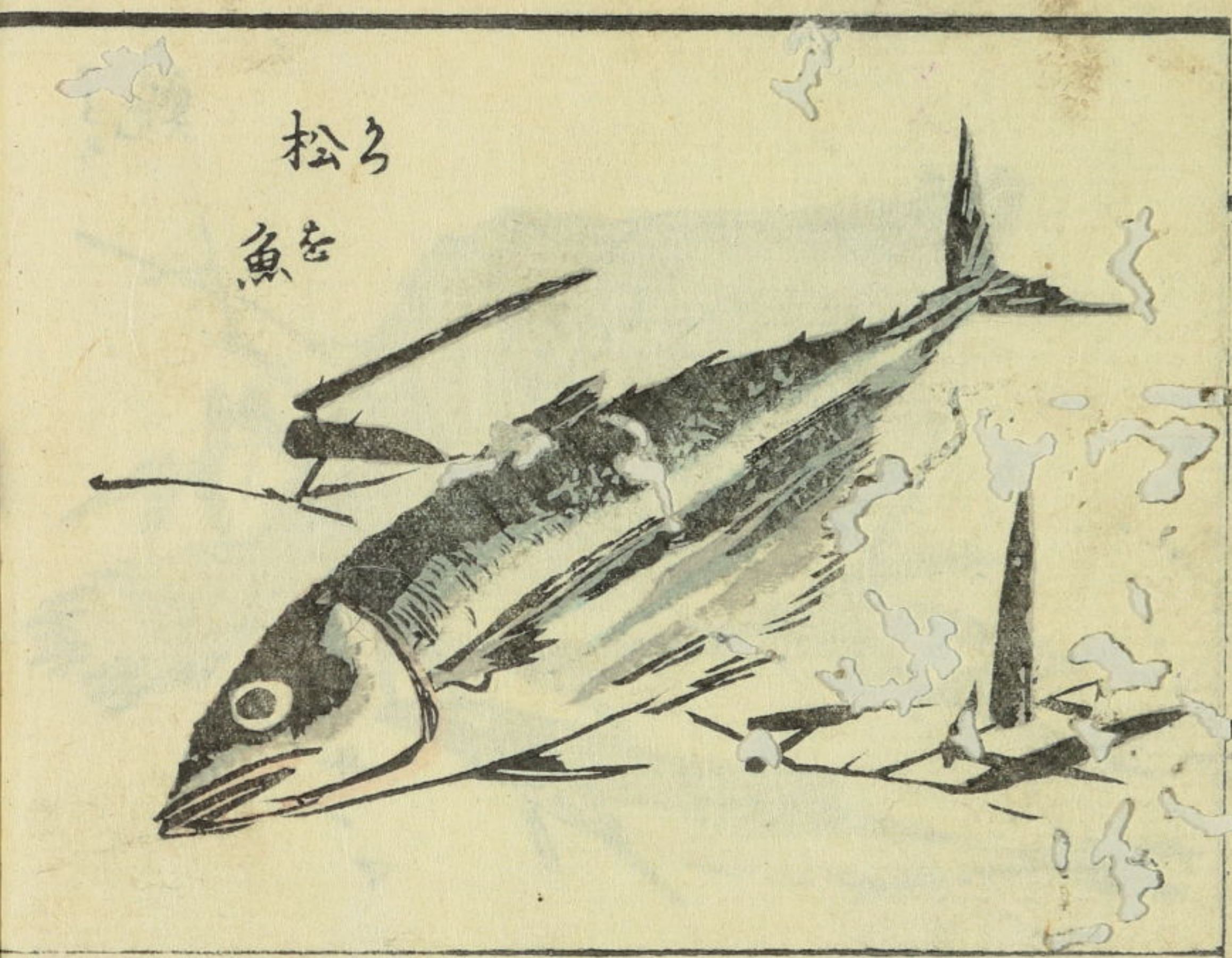
鱈
魚



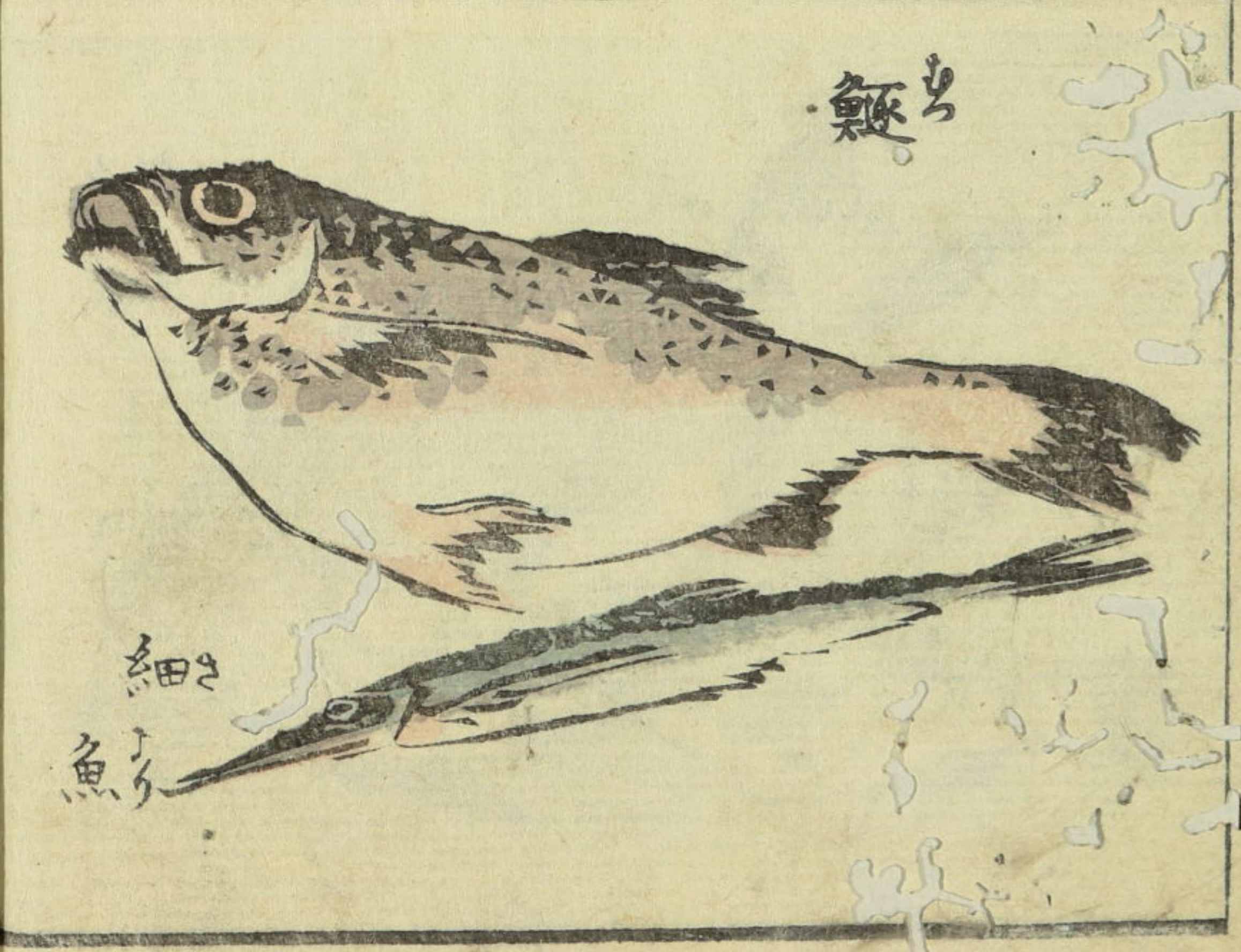
石
斑
魚

鱈
魚

鱈

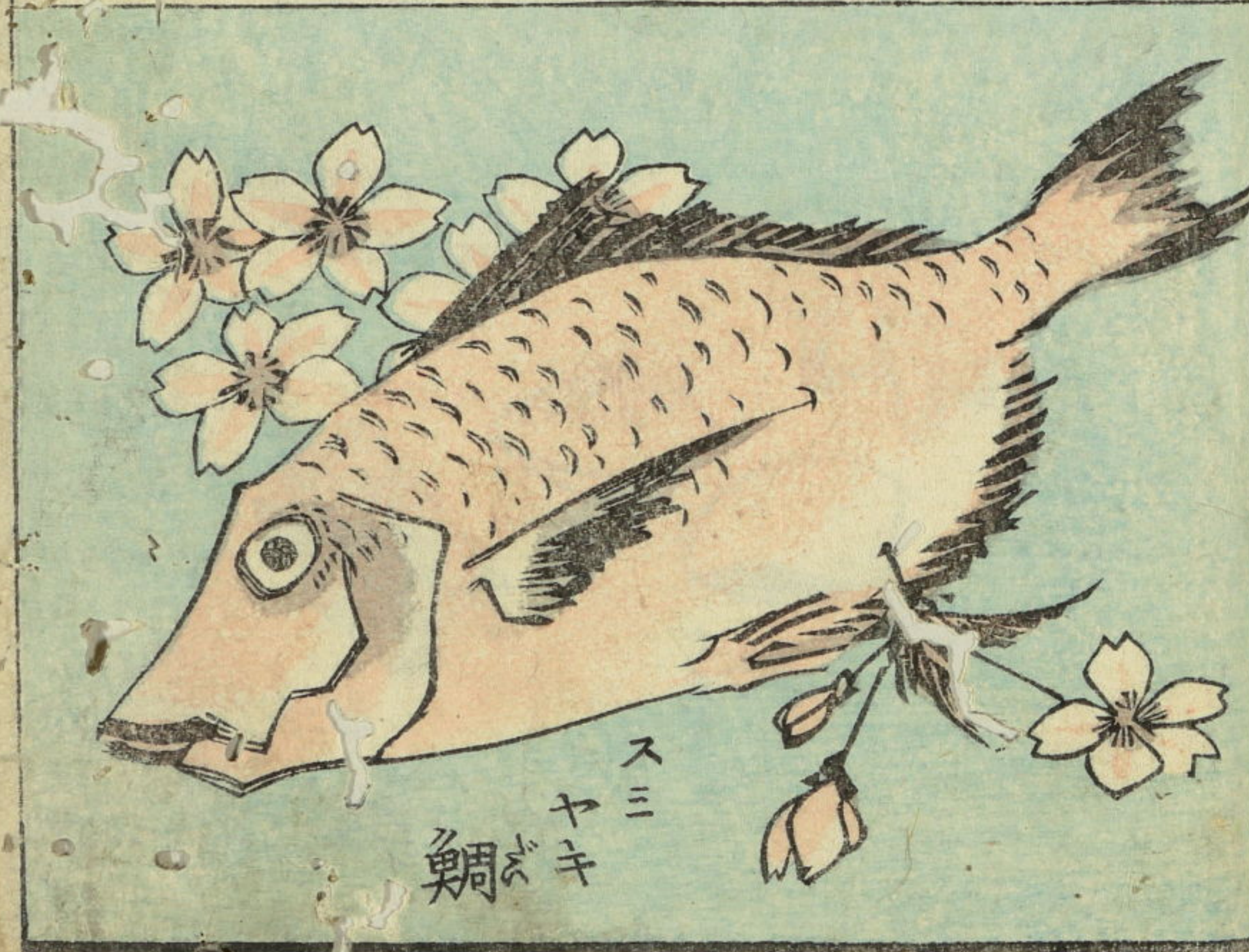
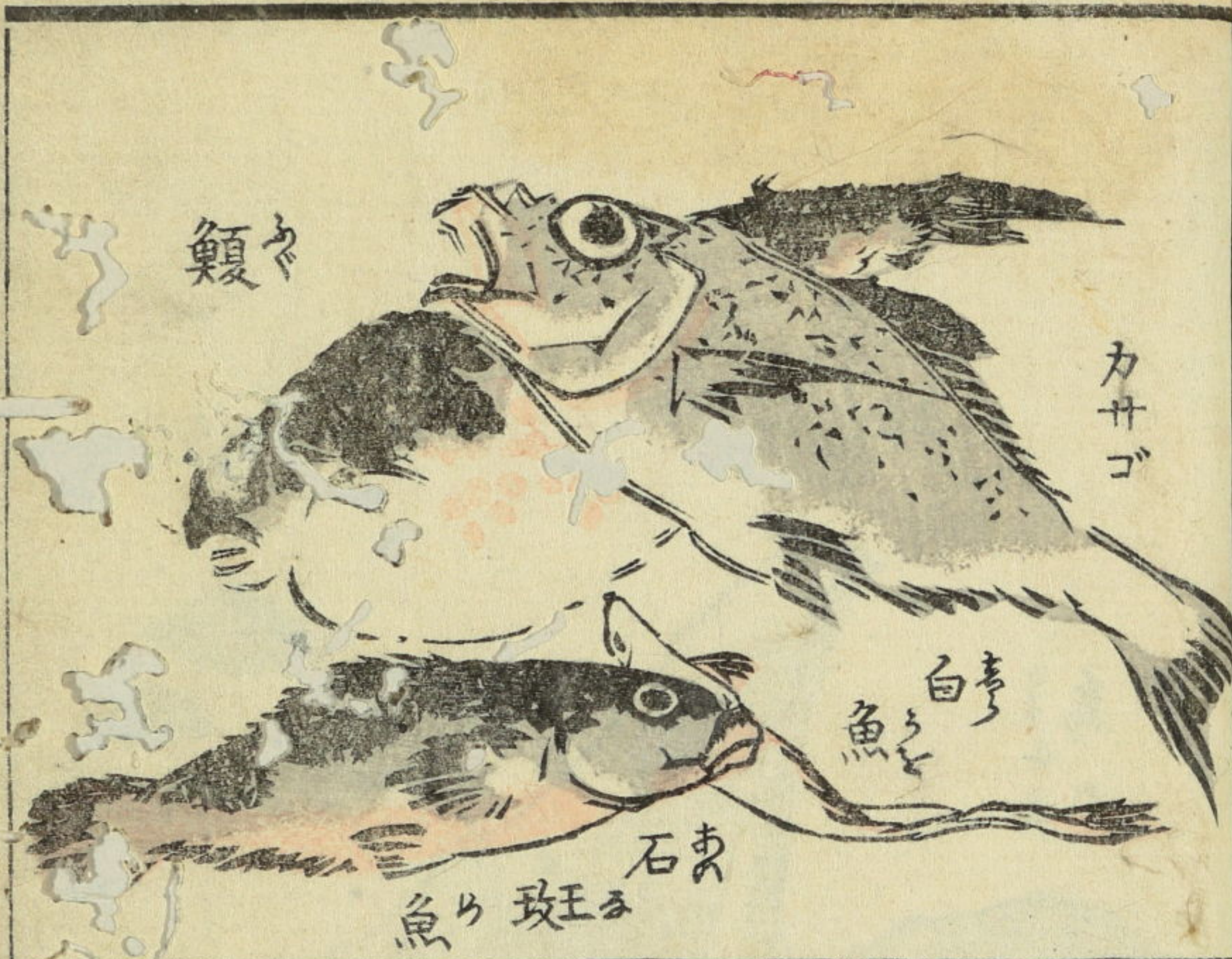


松
魚



鱈

細
魚





柳川重信筆

柳川畫譜

中本

獸之部
鳥之部
山水之部
魚虫之部
人物之部

同 畧筆

柳川略畫初編

次編引續述之出版仕

林庄五郎板



文蛤

現

鳥貝

榮螺

蛤

蛸

和泉屋市兵衛

藤岡屋慶次郎

上品屋重藏

了子屋平兵衛

山崎屋清七

森屋治兵衛



